

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

### 内容

オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。生徒たちにとって一番身近に感じられる「ピアノ」についてのコーナーも設けます。

※吹奏楽部との共演を希望する学校の場合は、吹奏楽部指導をワークショップ当日に行います。

※希望の場合には交流給食有

### タイムスケジュール（標準）

2 時間目 準備、3 時間目、4 時間目 ワークショップ（45 分×2 コマ）

または

4 時間目 準備、5 時間目、6 時間目 ワークショップ（45 分×2 コマ）

### 派遣者数

楽器演奏者 3 人、指揮者 1 人、ピアニスト 1 人、司会 1 人

計 6 人

### 学校における事前指導

特にありません（音楽の時間などで、教科書にオーケストラのことが掲載されていればそこを紹介しておいてもらう。インターネット上のオーケストラの楽器の動画などを視聴しておいていただく。）

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

演目
<第1部> スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広：「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」（ナレーション付き） モンティ：チャールダーシュ ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」から第1楽章 （休憩15分） <第2部> アンダーソン：トランペット吹きの日 黛敏郎：スポーツ行進曲 ★指揮者体験 ビゼー：歌劇『カルメン』より前奏曲 外山雄三：管弦楽のためのラブソディ アンコール）久石譲：君をのせて（映画『天空の城ラピュタ』より）  公演時間（90分）

派遣者数
指揮者1名 ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、テューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1 第1ヴァイオリン×12、第2ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6 スタッフ：13名 合計：82名

タイムスケジュール（標準）
舞台設営・楽器搬入 9:00～11:00
会場でのリハーサル 11:00～12:30
公演 13:30～15:00（途中休憩15分）
舞台撤収・楽器搬出 15:00～16:00
退出 16:30

### 実施校への協力依頼人員

特にありません

### 演目解説

全体は2部構成で、前半の第1部では「オーケストラの楽器と演奏者」に、後半の第2部では楽器と演奏者が集まって作られる「オーケストラ全体の響き」を肌で感じられるプログラムとしています。

第1部は『売られた花嫁』序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器・木管楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す音の緊張感が、日常から非日常への扉を開き、各体育館を劇場に変貌させます。「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれ一つずつを、ナレーション付きで紹介します。協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、派遣地域出身の楽員を起用する予定ですが、該当者がいない場合は、ワークショップに出演した奏者や、若い奏者など、生徒と共感を得やすいという視点から起用します。交響曲「運命」ではベートーヴェンという作曲家がどのような人間で、いかなる辛さを乗り越え、そしてこの曲を作るに至ったかという作曲の背景を学んだうえで、それがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます

第2部はオーケストラの響きを存分に楽しむと同時に、「作曲家の歴史」や「音楽の地域性」を同時に学ぶ事のできるプログラムを揃えています。オーケストラの演奏に生徒が合唱で参加できるコーナーを挟んで、フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラプソディ」で締めくくります。アンコールで、子供たちに耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。

### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

#### ①指揮者体験コーナー

指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表 3 名にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。

#### ②みんなで歌おうのコーナー

歌うために簡単な準備体操をした後、オーケストラ伴奏で BELIEVE(ビリーヴ)や校歌を全員で歌います。ワークショップ時にも事前練習を行い、オーケストラとの共演をより良いものにできるように指導します。

#### ③その他

床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、生徒から見て奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。また、吹奏楽部や器楽部の共演を希望する場合には、各校吹奏楽部の部員にとって一生記憶するような「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で最高の公演にできるような指導プログラムを準備いたします。

### 児童生徒とのふれあい

・みんなで歌おうのコーナーにおいて、いつもはピアノ伴奏で歌う曲を、オーケストラの伴奏と一緒に演奏する。

・指揮者体験のコーナーで実際にオーケストラを指揮して演奏に参加していただく。

・休憩中、終演後など吹奏楽部の生徒さんと交流を持つ機会を作る。